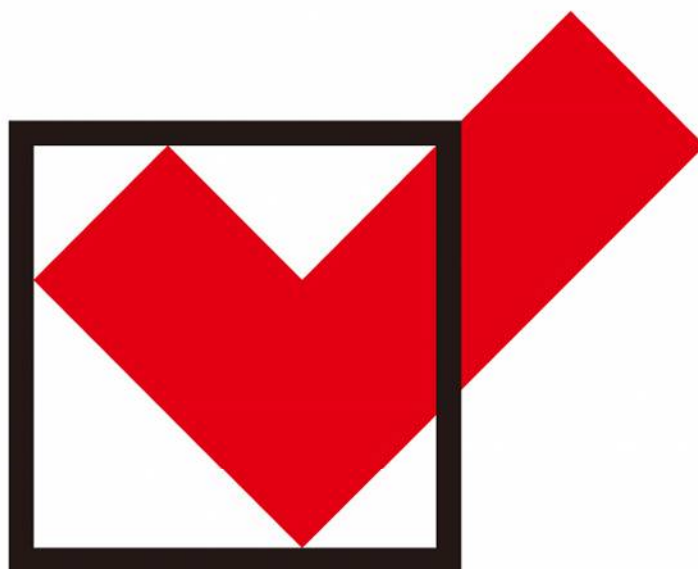


「ACTION!防災・減災」プロジェクトのご案内

実施期間：令和7年3月1日～31日



ACTION! 防災・減災

——— 命のために今うごく ———

災害は、突然やってきます。

ひとりでも多くの命を救うために、日本赤十字社は皆さまとともに、災害に備えるための活動、「ACTION! 防災・減災」をはじめています。

このプロジェクトは、未来に目を向け、「災害への備え」の大切さについて一緒に考えることで、一人ひとりが自分ごと化し、自身や家族、大切な人の命を救う具体的な行動（ACTION）を起こすきっかけづくりを目指した取り組みです。

どうか今、あなた自身や家族、大切な人たちの命をどう守るのか、考えてみてください。

災害時にあなたの、そして大切な人たちの命を守るのは、今のあなたの行動です。

前年度プロジェクト参加企業・団体数 **127社**

日本赤十字社は令和6年3月1日から31日まで、「ACTION! 防災・減災—命のために今うごく—」を実施しました。

このプロジェクトは、未来に目を向け、「災害への備え」の大切さについて一緒に考えることで、一人ひとりが自分ごと化し、自身や家族、大切な人の命を救う具体的な行動（ACTION）を起こすきっかけづくりを目指した取り組みです。



災害に備えて“今”何ができるかという視点から、身近な人を救うための知識や技術を身に着けることができる救急法の一次救命処置をメインビジュアルにしました。

特設サイトでは、事故や災害時に命を守ることにつながる救急法のポイントを日赤のアンバサダーである上白石萌音さんと共に学ぶ「もしもの時の3つの備え 救急法ハンドブック」を公開しました。

また、幅広い年齢層に人気のある雑誌「anan」「Hanako」「POPEYE」とコラボした「健康生活支援講習」「幼児安全法」「水上安全法」に関する記事も掲載。

特設サイトの閲覧数は21万を超えるなど、多くの方々に救急法をはじめとした講習を知っていただく機会となりました。



+SAVE365 Magazine

寄付で日本赤十字社を支援する



Hanako

ハナコロボメンバーと学ぶ！今日からできる、こどもとの安全なくらしのための6つのtips。

大原真樹さんと考える、モロッコと国際支援。

関東大震災から100年。いまこそ備えよう。〈日本赤十字社〉が監修！防災2版クイズ。

何で寄付するの？を考える。"あなたは何で〈日本赤十字社〉に？【前編】"

何で寄付するの？を考える。"あなたは何で〈日本赤十字社〉に？【後編】"



Photo: Wataru Kitao | Illustr: naohiga | Text: Kana Umehara

ハナコロボメンバーと学ぶ！

今日からできる、こどもとの安全なくらしのための6つのtips。



日本赤十字社 @JRCS_PR · Mar 13

／
転倒や誤飲、溺水...
今日からできる、こどもとの安全なくらし
＼

こどもとの毎日は思いもよらない危険ばかり。
幼児安全法などを担当する日赤職員が、家の中とおでかけ中の「こどもとの安全なくらし」のヒントをお伝えする、[#Hanako](#) コラボ記事を公開中！

...
[Show more](#)



Hanakoとのタイアップでは、「ハナコロボメンバーと学ぶ！今日からできる、こどもとの安全なくらしのための6つのtips」と題して、幼児安全法について、実際に3人のお子さんをもつハナコロボメンバーと日赤職員が対談したものを記事にまとめました。

乳幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当てなどの知識と技術について、家の中と外出時のシチュエーションに分けて、生活するうえで気を付けるべきポイントや身の回りにあるもので行う応急手当などについて取り上げました。

本プロジェクトに連動し、全国の日赤支部ではさまざまな活動が催されました！

3月18日、日赤宮城県支部は、宮城県立視覚支援学校の学生を対象に救急法短期講習を開催しました。目で見て状況を確認することが難しい受講者たち。まずは使用する人形やAEDデモ機を触って観察。指導員も視覚に頼らない感覚で伝えるべく目を閉じ、大出血の判断方法の一つとして血液(鉄)の匂いがするかどうか、など視覚以外の感覚の判断を重視。指導員の動きにはナレーションをつけました。



宮城県

視覚支援学校で救急法短期講習を実施
視覚に頼らず命を救う行動を学ぶ

千葉県



楽しくまなんで防災力向上へ
防災イベント「まなぼうさい」

防災イベント「まなぼうさい」に日赤千葉県支部が出展。3月3日の蘇我会場では、防災クイズや風呂敷リュックサックの作り方体験などを行いました。また、3月10日の幕張新都心会場では、日赤考案の「家具安全対策ゲーム (KAG)」を実施。ゲーム感覚で防災意識を高め、家具などの安全対策も紹介しました。参加した子どもからは「わかりやすく楽しかった」などの感想が寄せられました。

**本プロジェクトに賛同し、ご参加いただきました皆さまに
心から御礼を申し上げます。**

「ACTION! 防災・減災」プロジェクトへのご参加のお願い

①特設WEBサイトのURL及びバナー画像掲載によるご参加のお願い

このプロジェクトは、東日本大震災が発生した3月を中心に、未来に目を向け、「災害への備え」の大切さを働きかけ、日本全体で防災意識を高めるムーブメントを起こす取り組みです。

社会や貴社内で防災意識の更なる醸成を図るため、貴社のWEBサイト、SNS、社員向けサイト等で、ACTION! 防災・減災の特設WEBサイトのURL (<https://www.jrc.or.jp/lp/save365/>) を掲載いただき、情報発信にぜひご協力をお願いいたします。特設WEBサイトでは、「災害への備え」という行動(ACTION) を働きかけるコンテンツを2月20日(木)から順次掲載予定です。

「Action! 防災・減災」特設WEBサイト掲載予定コンテンツ

「知る」 ことで 備える

避難行動で陥る可能性のある間違いや注意事項について学べるコンテンツをご紹介します。

「身近」 に感じる ことで 備える

雑誌「anan」による協力のもと、日本赤十字社職員が持っている「防災バッグ」の中身をご紹介します。自身の状況に合わせた中身とそのポイントについてお伝えします。

「見る」 ことで 備える

上白石萌音さんが災害に備えた家具の安全対策について考えるWEBCMを公開。避難経路を確保するための家具の配置や固定などについて訴求します。

プロジェクトにご参加いただける企業・団体様には、貴社のWEBサイト等でご使用いただける「ACTION! 防災・減災」のバナー画像（特設WEBサイトへのリンク用）をご提供いたします。



②赤十字活動資金ご協力によるご参加のお願い

5千円以上のご寄付のあった企業・団体様には、「ACTION! 防災・減災」特設WEBサイトに貴社のロゴを掲載し、貴社WEBサイトにリンクを設定させていただきます。

お寄せいただきましたご寄付は、防災・減災をはじめとする日本赤十字社の命を守る活動に活用させていただきます。

③ポスター掲示ご協力によるご参加のお願い



ACTION! 防災・減災の実施期間中、日本赤十字社では”備える力”を高める活動の普及促進を強化いたします。ポスター掲示により、社員や関係者の皆様へ赤十字活動の周知にご協力いただけるようでしたら、大変有難く存じます。ポスターはB2とB3サイズをご用意しております。

ポスター内 告知文

災害 いま備えれば 守れる命がある

自分の、そして大切な人の命を守るように、
必要なのはいま備えること。
赤十字は、命を守るための
知識や技術を広め続けています。

※特設WEBサイトへの二次元コードや検索窓などはありません。

日本赤十字社は、突然やってくる災害に備えて活動しており、災害時には医療チームの派遣や救援物資の配布を行っております。また、日頃からの備えも日本赤十字社の大切な活動であり、救急法等の講習や防災セミナーなどを通じて、命を守るために必要な知識や技術を私たちは広めています。

こうした活動を続けていくため、日本赤十字社の活動にご支援ご協力のほど何卒お願いいたします。

ご参加方法は、どれか1つだけでも構いません。本プロジェクトにご参加いただける場合は、令和7年1月31日（金）までに別紙の「参加申込書」を下記のメールアドレスまでお送りください。皆様のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ

日本赤十字社 静岡県支部 組織振興課 振興係
TEL : 054-252-8131 FAX : 054-254-5830
Email soshiki@shizuoka.jrc.or.jp